

日本で働くためのビジネス講座

3つのワークを使って日本の商慣習やビジネスマナーを学ぶ講座

講師 エンピ・カンデル UNIBIRD株式会社代表取締役

1983年12月ネパールのチトワン生まれ。2005年10月21歳で来日、2011年杏林大学卒業。入社した企業で留学生の就職を支援する。2013年9月、転職し留学生就職支援事業立ち上げる。2017年10月、UNIBIRD株式会社立ち上げ代表取締役就任

講師から 私は8年以上にわたって留学生2000人への就職活動支援と、企業750社以上への採用活動・定着支援をしてきました。本研修は約650人の留学生を内定に導き、入社した人材の3年以内の離職率3%未満という実績から得たメソッドをもとに構成しています。私自身も留学生として同じ道を歩んだ経験から、誰よりも外国人のことを考え、就職支援及び定着支援ができると自負しています。



本研修の狙い

外国籍社員がより一層活躍できるように、日本の商慣習やビジネスマナーについて理解し、組織の一員になるために必要なコミュニケーションスキルの習得を目指します。外国籍社員が遭遇しそうなケースを取り入れたワークで学びます。

- ①“あなた”は会社で何をすべきか
～会社で活躍するための行動指針。先輩たちの試行錯誤
- ②“あなた”は会社でどのように働くべきか
～知っておかなければならないビジネスマナー。HOW TO情報
- ③会社は“あなた”に何を求めているか
～日本人上司・同僚とのコミュニケーション術

コース名	日本で働くためのビジネス基礎講座		
受講費用	35,000円/名（税別）	研修時間	1日（10時～17時）
開催日程		最少催行人数	8名
参加条件	日本語でのディスカッションに参加できること		
会場	日経HR 6階セミナールーム（東京都千代田区神田鍛冶町3-6-3 神田三菱ビル）		

内容

1.日本企業における働き方

- ・外国人と日本人、働き方の特徴の違い
- ・上司と部下の関係（しばしば発生する問題点）
- ・日本人と働く時に起こる問題点

【ワーク1】 ある日、Aさんが作成中の資料について上司に質問しました。でも、上司は「本質を考えなさい」とだけ答えました。Aさんは「なぜ教えてくれないのか」「本質を考えなさいと言われても何を考えればいいのか」と悩み、上司への不満を抱いただけでした。

2.外国人目線と日本企業目線

- ・外国人から見た日本企業
- ・日本企業から見た外国人社員
- ・日本人上司と外国人部下

【ワーク2】 上司がAさんに「明日お客様に渡す資料考えた？」と質問しました。Aさんは何も指示されておらず、何を言われているのかわかりません。「考えていません」と答えると、上司に「正社員なら自分で考えて仕事をして！」と叱られました。Aさんは意味がわかりませんでした。

3.日本人と働くための注意点

- ・しばしば発生する問題点
- ・問題の本質は？
- ・解決法は？
- ・上司がその業務を課す目的は？

【ワーク3】 上司がAさんのところにやって来て、「●月から工場に出向だから頑張ってね」と言われました。突然のことに驚いたAさんは「私は評価されていない。それなら会社を辞めよう」と思いました。

4.明日への“気づき”

- ・指示された業務のこなし方
- ・上司の指示の意図を深読みする
- ・勤務1年目、2年目、3年目 それぞれやるべきこと

お問い合わせ

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-3 神田三菱ビル
日経HR コンテンツ事業部 研修事業担当（藤野 渡辺 宮下）
tel.03-6812-7304 E-mail kenshu@nikkeihr.co.jp